



第16回全日本高校模擬国連大会報告 NYでの国際大会出場権獲得

11月12日(土)13日(日)の両日に渡り渋谷区の国連大学にて全日本高校模擬国連大会が3年ぶりに完全対面形式で開催されました。9月に実施されたオンライン形式の予選を通過した全80チームが渋谷に集結しました。これまでは「ジェンダー平等」「宇宙開発」といった議題が取り上げられることが多かったのですが、今年は「多国籍企業及び社会政策に関する原則の三者宣言」という過去に例を見ない議題について議論が交わされました。本校からは高校2年の榊田啓太郎君と土屋哲史君がエクアドル大使として大会に臨みました。大会は40チーム毎に2議場に分散して行われ、会議終了後に議場毎に最優秀チーム1校、優秀チーム2校が発表されました。本校は見事優秀賞を獲得し、来年4月にアメリカ・ニューヨークで開催される高校模擬国連国際大会への出場権を獲得することができました。本校は直近では2020年にもアメリカ派遣団に選ばれていたのですが、新型コロナウイルスの世界的流行のため残念ながら派遣事業そのものが中止となってしまいました。当該年度の生徒は現在大学2年生と1年生になっておりますが、自らの健康にも関わらずやむを得ない事情だったとはいえ折角のチャンスが奪われてしまい非常に悔しい思いをしました。今回の榊田君・土屋君には先輩の分も合わせて現地で大いに活躍していただきたいと願っております。今号に合わせて両君から原稿を寄せてもらいましたのでぜひお目通し下さい。



大会2日目朝 左：土屋君 右：榊田君



表彰式後 左：土屋君 右：榊田君



今回、全日本高校擬国連大会に出場しました高校2年の土屋哲史です。まずは今回、出場に協力していただいた顧問の先生方、ペアとして協力しあった同学年の梶田くんに感謝を述べたいです。

模擬国連はその名の通り、国連を模擬し学生が各国の大使として実際にある国際問題にとりくんでいくという活動です。今回はコロナ禍の影響がありましたが、オフラインの開催でした。オフラインでの開催は久しぶりで少し不安がありましたが、最終的には優秀賞という結果だったのでよかったです。

本会議で私たちはエクアドル大使として多国籍企業宣言の改定に取り組みました。実は模擬国連で一つの宣言の改定がテーマと

して扱われるのは珍しく、通常はいわゆる SDGs にあるようなメジャーな貧困、ジェンダーといったテーマが扱われることが多いです。実際、このテーマについて調べていく中でもその珍しさもあってか情報収集が難しいと感じることもありました。

多国籍企業宣言においては具体的に、労働者の社会保障やコロナ禍での企業、政府間認識、受入国と本国の立場の差異など複数の要因が絡み、さらにその要因一つをとっても取り組むのが難しいものになっています。今会議での議論の争点となったのは、多国籍企業という国家をも超える力を持つ組織にどのぐらいの責任や義務を負わせるのかという点です。この争点を中心として、多国籍企業、政府の関係を考え、より今の時代に適合した宣言を作る必要がありました。そんな中で、発展途上国や、EU などの先進国との利害を取りまとめるのは難しく、会議二日間でも時間は足りませんでした。宣言も抜本的な改善とまではいかず、現状維持するところもありながら、少ないながらも合意をとれたところのみを改定することになりました。最終的に綺麗な価値で終わらせることは難しかったですが、なんとか最後まで会議にくいつけていたのはよかったと思います。

結果的には優秀賞を獲得できましたが会議全体の動向や時間を意識して議場を掌握するということができなかった点は今後の改善点としたいです。

毎回、模擬国連に参加すると自分がニュースで見たことがあるような問題であっても知らないアプローチや考え方、そうなった背景を知ることができ多くの学びを得られます。

今回の会議での自身の行動や体験を今後の模擬国連や社会で活かせるように頑張っていきたいです。ニューヨークでの大会でも新たな学びが得られるように頑張りたいです。



続きまして、高2の梶田啓太郎です。

去る 11/12,13 に第 16 回全日本高校模擬国連大会本選へ出場させて頂き、B 議場 Ecuador 大使として優秀賞を頂きました。ペアを組んでくれた土屋君、そして支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

今回の会議では「ILO 多国籍企業宣言の改訂」という議題においてエクアドル大使を担当しました。Ecuador はスペイン語で「赤

道」の意味を指す言葉で、その名の通り南アフリカの赤道直下に位置する国家です。首都キトは常春の都市として、またガラパゴス諸島は千万無量の動植物が生息する希少な地域として知られます。あくまでも学生レベルではありますが、模擬国連に参加するにあたってはこのような基本情報は勿論、それ以上に政策や国内法或いは条約を調べる必要がある中で、日本語の資料が見つかることは残念ながら少なく、基本的には英語でのリサーチを求められます。しかしながらその準備があつてこそ会議本番にて最低限レベルの質を担保して話し合いが可能となりますし、より競技レベルが向上していきます。会場の中高グローバル部では、このような会議に出るための基礎となる事前準備のバックアップから会議後のレビューまでしっかりと行うことで育成、そして各個人の成長を促しています。

私は中1でグローバル部に入部してから高2までの5年間、30回以上、下手したら40回は模擬国連大会に参加してきました。振り返れば中1の時は2017年でトランプ氏が米大統領に就任した時期にあたり、その頃から米の政策転換の影響を受けて自国第一主義が世界的潮流となったことを目の当たりにしたり、また中2終わりからは新型コロナウイルスの流行の影響で対面での会議開催が難しくなり、Zoomでのオンライン会議が多くなったりもしました。そのような状況の中で、中1から当時高校生だった各校の先輩方を見て憧れ、追いつけ追い越せで今まで無心に頑張り、模擬国連に取り組んできました。肩を並べられたかに関しては全く自信がないですが、せめて私に期待してくれていた先輩方に会わず顔を保てていればと思うばかりです。そして、そんな背中を見てきたかっこ良い先輩方に比べたら、私は本当にポンコツです。よく父親にも「非効率」「要領が悪過ぎる」等々並べられて怒られています、笑笑。ただ、そんな奴が誰に馬鹿にされても1つの事を5年間も地道に弛まず続けていれば、全日本大会で賞を頂けて国際大会に日本代表として出場できる、という後輩たちに向けての良い例が作れたのでは、とも感じています。後輩たちには私以上により理想を追求できる大使になって欲しいですし、その上で「梶田なんて足元にも及ばないな」と真剣に思えるぐらいの実力をつけてくれれば、先輩として思い残すことなく引退できます。そして、私が引退した後も綿々と続いていく高校模擬国連の1ページの片隅にでも、私の名前が残っていたとしましたら、これ以上の幸せはありません。

来年5月にニューヨークにて行われる国際大会も、土屋とともに頑張っけて参ります。

ご精読頂きありがとうございました。



表彰式の様子

かつてアメリカ派遣を経験したグローバルクラスルーム事務総長を務める大学生より賞状を受け取ります。

マサチューセッツ工科大学協賛 Global Tech の紹介（現中3～高2対象）

本校卒業生が関係する団体よりご紹介いただいた講座の情報をお届けします。昨年 Python というプログラミング言語を使用した自動運転に関する半日完結の講座を実施しましたが、今回はそれを発展させた長期スパンの講座となります。アメリカ MIT で STEM プログラムを推進する Beaver Works の協賛を得て MIT が開発した Web 教材を使用して最新テクノロジーを学びます。

以下、大まかな内容をご紹介します。半日完結の講座とは異なりかなり高額な費用も発生しますし、英語で書かれた教材が使用されるために語学力も必要となります。申し込みは各自で行っていただきますが、学習時間がきちんと確保できるかなど慎重に検討をお願いします。

対象：現中学3年生～高校2年生

開催時期：プレコース 2023年2月～4月

サマーコース 2023年5月～8月

学習内容：以下のいずれかを選択

①自動運転車コース

小型自動運転車を作るコースです。画像認識・制御を学習し、自ら開発したプログラムを使いレースを実施します。

②機械学習コース

深層学習を使った画像認識等のプログラムを作るコースです。学習内容を英語でまとめて発表します。

開催時期・費用

	プレコース	サマーコース	MITイベント
開催時期	2023/2/4(土) ～4/1(土)	5月中旬～7月中旬*1	7月下旬～8月上旬*1
講義回数	5回	10回	*1
費用(税込み)	87,956円	119,350円*2	*1

*1 プレコース中に、サマーコースとMITイベントへの説明会を開催します。

*2 自動運転車コースは、別途機材費用が掛かります。プレコース中の説明会にて費用をご案内します。

申込締切：2023年1月13日（金）

*希望者にはチラシを差し上げますのでグローバル教育部（2号館2階）までどうぞ。火曜日は担当者が不在となりますのでご注意ください。



トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラム（現中3～高2）

コロナ禍でここ2年間海外渡航が制限されていた関係で留学も必然的にしにくくなっていました。返済不要の留学奨学金プログラムを運営していた産・官・学協働プロジェクトであるトビタテ！留学 JAPAN が2023年度より再開されることとなりました。2023年度は第8期奨学生として全国の高校生700名の募集が開始されます。ただ海外で英語を学ぶという留学だけでなくボランティアなど学校に行かない計画も支援の対象となります。日本全体で700名ですから当然のことながら選考は厳しいものとなりますが、チャレンジしてみる価値はあると思います。例えば来年の夏休みに個人的に短期で行ってみたいと漠然と考えている生徒諸君は自分が参加を検討しているプログラムがトビタテの支援対象となるかを主催団体に問い合わせしてみてください。

以下簡単に2023年度の募集についての情報を記載します。

- エントリー期間：2023年2月（予定）～2023年2月24日
（新高1のみ）：2023年4月3日～26日
- 留学プログラムの実施期間：2023年7月10日～2024年3月31日
- コース設定

マイ探究コース

(360名)

好きなこと、得意なこと、挑戦してみたいことなど、自らの興味・関心や自分の中にある問題意識を起点として考えた自由なテーマや課題を設定し、多様な人々との異文化交流を通して、問題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。

社会探究コース

(200名)

Society5.0やSDGsを踏まえ、世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考え、「自分自身」の立場からできること・できそうなこと・すでに取り組んでいる活動を活かし、自由な発想と創造力をもって課題解決や活性化、社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。

スポーツ・ 芸術探究コース

(140名)

自身が所属する部活動や学校外の活動を活かし、海外の指導者の下で競技力や表現力のレベルアップを目指すとともに、スポーツ・芸術活動を通じた課題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。

